

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		17-	10	
事業名	郷土資料館経費		会計	款	項	目
			一般	10	5	5
施策	3	心豊かなまち	課名	社会教育課		
	3-2	文化のかおるまちをつくる	係名	生涯学習係		
	3-2-1	多様な文化・芸術活動の支援				
主要施策	③文化財の保存・活用					

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民、町内の文化財	目的 (対象がどのような状態になっているか)	資料館を見学することを通じて町民に郷土の歴史を知ってもらい、その中で郷土愛を育み、誇りをもち、まちづくりの意識を向上させる。
事業内容	町内の郷土資料の収集・保存・展示を行う。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

		指標名	平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
指標	1	郷土資料館への入館者数	118	13	89	人	↑	100	
	2								
	3								
	4								
	5								
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B					419	545	-		
財源内訳	直接事業費 A				89	215	-		
	うち一般財源				89	215	-		
人件費 (千円) B					330	330	-		
内訳	一般職員 (人・千円)		0.05	330	0.05	330	-	-	
	臨時職員 (人・千円)		0	0	0	0	-	-	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	B 達成できなかった
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適正である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 (事業を拡充して継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	学校に授業の一環として見学を促すとともに、資料館のPRを強化する。	③取組の課題	学校のほか、多くの一般町民に見学してもらうことが課題である。
②R1年度に実施した取り組み	広報とういんにコーナー「郷土資料館を見学してみよう!」を設け、毎月展示品を紹介した。	④今後の改善計画	展示内容を工夫し魅力を高める。シニアクラブ等との協働に取り組み、資料館の応援団を増やしていく。【R2に事業を文化財保護経費へ統合します】